

昭和から平成。そして、新たな時代へ語り継ぎたい物語。 知られざるヒロインたちの感動の実話、遂に映画化!



怒った。泣いた。笑った。そして、生きた。

1944年の東京。20代を中心とした若手保母たちが、国の決定を待たず、日本で初めて園児を連れての集団疎開を敢行した、いわゆる「疎開保育園」の事実はあまり知られていない。これは、幾多の困難を乗り越え、託されたいのちを守りぬこうとするヒロインたちの奮闘を描いた真実の物語。大切ないのちを未来へつなぐことを願い、毎日必死で戦った保母たち。強い信念で時代を切り拓いていった彼女たちの生き様は、時を越えて今を生きる我々を魅了し、大きな勇気と希望を与えてくれる。主演は、目覚ましい活躍を続ける実力派女優・戸田恵梨香と、女優・歌手としてフィールドを広げる大原櫻子。また、今後の映画界を牽引する期待の新鋭俳優たちが共演し、林家正蔵、夏川結衣、田中直樹、橋爪功ら日本を代表する俳優たちが脇を固める。メガホンをとるのは『ひまわりと子犬の7日間』の監督であり、長年山田洋次監督との共同脚本、助監督を務めてきた平松恵美子。



STORY

戸越保育所の主任保母・板倉楓は、園児たちを空襲から守るため、親元から遠く離れた疎開先を模索していた。最初は反発していた親たちも、子どもだけでも生き延びて欲しいという一心で保母たちに我が子を託すことを決意。しかし、ようやく見つかった受け入れ先はボロボロの荒れ寺だった。

幼い子どもたちとの生活は問題が山積み。それでも保母たちは、子どもたちと向き合い、みっちゃん先生はオルガンを妻で、みんなを勇気づけていた。そんな願いをよそに1945年3月10日、米軍の爆撃機が東京を襲来。やがて、疎開先にも徐々に戦争の影が迫っていた――。



太平洋戦争末期、53人の子どものいのちを守った保母たちがいた。

誰もが自分のことで精一杯だった時代、彼女たちを突き動かしたものは一体なんだったのか?

あの日のオルガン

anohi-organ.com



2018年/119分/カラー/ビスタ/5.1ch © 2018「あの日のオルガン」製作委員会

上映会 **9月11日(日)** 上映 午後2時～ (開場 午後1時30分)

於：フレサよしみ大ホール 入場料 700円 中学生以下無料 (整理券が必要です)

主催：「あの日のオルガン」吉見町上映実行委員会 連絡先：070-3867-2314 (室田)

後援：吉見町・吉見町教育委員会 チケット・整理券取扱店：小島正心堂 TEL54-0082



あの日 オルガン



戸田恵梨香 大原櫻子

佐久間由衣 三浦透子 堀田真由 福地桃子 白石糸 奥村佳恵

萩原利久 山中崇 田畑智子 陽月華 松金よね子

林家正蔵 夏川結衣 田中直樹 橋爪功

監督・脚本：平松恵美子

原作：久保つとむ『あの日、オルガン 疎開保育園物語』（朝日新聞出版）

音楽：村松道雄 主題歌：アン・ヤリー『星月の夕（2018ver.）』（ソングエクスプレス）

エグゼクティブアドバイザー：李萬宇 プロデューサー：三宅はる美 企画：高橋航夫 李萬宇

監督：トラン 東京福祉大学

後援：社会福祉法人東京財団母子子育て会、公益社団法人全国私立保育園協会、社会福祉法人日本保育協会、全日本私立幼保連携会、東京都私立幼保連携会、全国認定こども園協会、全国私立幼保連携会、公益社団法人全国福祉教育研究協会、一般社団法人全国保育士養成協議会、日本子ども子育て支援センター連絡協議会、公益社団法人日本私立保育協会、全国保育団体連絡会、全国保育労働研究協議会、一般財団法人日本産科協会、日本厚生保健女性連盟、全日本産科助産師会、東京都品川区、東京都新宿区、埼玉県蓮田市

制作：『あの日、オルガン』制作委員会（マンシースエンターテインメント、ジャパン・スロー・モーション・ネットワーク、中央映画新社、朝日新聞社、インジエス）

助成：©スエド 文化庁文化芸術振興費補助金 文部科学省特別認定作品（一般映画）/ 少年向け 成人向け / 家庭向け / 東京都（430.11.27） 厚生労働省社会保険審議会附属（児童福祉文化財）

配給：ジャパン・スロー・モーション・ネットワーク、マンシースエンターテインメント / 2018年 / 11月9日 / カラー / ビスタ / 5.1ch ©2018あの日、オルガン制作委員会

anohi-organ.com



子どもたちを守るために、保育園ごと疎開させる。知られざるヒロインたちの実話を映画化!

